

## 事務事業評価シート

事業番号	19					
事業名	親子ふれあいの広場	局名	健康福祉局			
		部名	こども育成部			
事業開始年度	昭和58年	課名	こども青少年課(青少年学習センター)			
根拠法令等	無し	課長名	笠原恭子			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 親子ふれあいの広場実行委員会)					
	<input type="checkbox"/> 補助金(補助先: )					
	<input type="checkbox"/> その他( )					
事業概要	目的 (何のために)	11月の「こども若者育成支援強調月間」(平成21年度までは「青少年健全育成強調月間」)の一環として、親子が、レクリエーションを通じて日常では味わえない体験を共有することによって、その愛情を深めるとともに、青少年の健全育成に対する理解と自覚を高めるため実施する。				
	対象 (誰・何を対象に)	市内在住の子どもとその親				
	事業内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淵野辺公園一帯を会場として開催。</li> <li>・青少年関係団体(市子ども会連協、青少年指導員連協、鼓笛バンド連盟、少年少女合唱団、スカウト連協(ボーイスカウト・ガールスカウト)、みらい子育てネットで構成)で組織する実行委員会に業務委託している。</li> <li>・実行委員はボランティアで参加。</li> <li>・市職員は事務局として係わっている。</li> <li>・事業効率向上のため、「相模原市農業まつり」「市民活動サポセンフェスタ」と隣接し同時に開催(淵野辺公園会場を3分割している)</li> </ul>				
	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年数多くの参加者(来場者数39000人)があり、事業としても定着している。</li> <li>・青少年の健全育成の啓発を目的とし、市民に親と子のふれあいの場を提供し、意識を持ってもらう意味からも、必要な事業である。</li> <li>・青少年健全育成を担って活動している青少年関係団体からも支持を得ており、各団体の青少年や青少年の指導者の発表の場として、また団体活動の活性化など団体活動の支援の意味からも、必要な事業である。</li> </ul>				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		1,540 千円	1,440 千円	1,200 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.17 人	0.17 人	0.17 人
			概算人件費	1,235 千円	1,235 千円	1,235 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	人	人	人
			概算人件費	千円	千円	千円
	人件費 合計		1,235 千円	1,235 千円	1,235 千円	
総事業費		2,775 千円	2,675 千円	2,435 千円		
市民一人あたりの事業費		0.00 千円	0.00 千円	0.00 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他( )	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	1,540千円	1,440千円	1,200千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	ステージ・天幕・机・椅子・その他開催に必要な物品の賃借			650千円	
	仮設電源・音響設備費用			250千円	
	公園用地賃借料(市 公共施設使用料)			110千円	
	各団体コーナー運営用消耗品(@10,000×7団体)			70千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	参加人数(来場した市民)	人	37,000	39,000	39,000
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	0.1	0.1	0.1
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	広く市民に、青少年の健全育成、親と子のふれあいの大切さを知ってもらうことから、来場者の人数について指標としたい。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	参加人数(来場した市民)	人	37000	39000	39000
特記事項 (事業の沿革等)	昭和58年に、青少年健全育成を目的として(上記目的欄参照)開始され、毎年11月の第2週の日曜日に開催している。運営は青少年の健全育成に携わる多くの団体で組織する実行委員会を中心として行っている。集客や事業効果の向上のため農業まつり、市民活動サポセンフェスタと同日の開催している。				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	事業費については、継続的に見直し行なっており、最盛期(平成13年時 2,200千円)に比べ、約45%の削減を行っているが、青少年関係団体の協力などにより、来場者はほぼ横ばいから増加傾向にあり、費用対効果の高い事業である。また、本事業は、青少年関係団体の発表、活動の場であることから、青少年の健全育成を促進するとともに、各団体の活動を支援していると言う側面も持ち合わせている。 今後とも、本事業を継続し、親と子のふれあいの場を提供していきたい。				
評価	《評価の視点》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない</li> <li>・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない</li> <li>・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない</li> </ul>			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、今年度で29回目を迎え、多くの親子がレクリエーションを楽しむことの出来るイベントとして定着している。また、青少年健全育成や青少年関係団体の育成・支援の視点からも、必要性は高いものとする。</li> <li>・継続的な事業費の見直しを行っている一方で、事業の開催形態については他のイベントとの同時開催にするなどの工夫を行い、参加者数も多いことから、費用対効果の高い事業である。</li> </ul>			
H24年度 予算への反映	現状維持とする。				
経営評価委員会 による意見	○現状維持 事業所管局の意見のとおり				